

カンボジアでの2年間の活動と生活を振り返って

(派遣期間：2018年1月～2020年1月)

2017年度3次隊 高崎忠信

[生活]

首都プノンペン、年がら年中暑い街です。平日はワイシャツと黒い夏用ズボンで自転車通勤。度無し2ドル眼鏡とマスクを着けて。休日は、いつでもTシャツに短パンでOK。気温は、朝も夜中も、雨が降っても、ほとんど変わらず。道路は、バイクとトクトクと車に溢れてます。トクトクはバイクとリヤカーが一緒になった様な乗り物。フランス統治時代の広い歩道があるのですが、車の駐車場になってます。この喧噪の中、余りためらわずに道を歩ける様になるのに、1か月程度掛かりました。



[活動]

政府関係機関でのコンピュータ利用支援。私なりに状況を判断し、努力しましたが、残念ながら十分な成果は得られませんでした。現地の方々はとても親切でしたが、私がクメール語を覚えられなくて、ほとんど会話が出来なかったのが、現地の友達が出来ませんでした。でも、NGO、NPOとして貢献されている素晴らしい日本人の方々にお会いするご縁があり、その方々の支援は続けていきたいと思っています。

[訪問される方に]

プノンペンを訪れる際は、日本の寒い時期をお勧めします。現地では、乾季になります。暖かく（暑く）、生活コストも比較的安いので、短期間なら異国情緒を楽しみながら過ごし易いと思います。旬のフルーツを楽しみたい方には、4月、5月をお勧めします。